

貞松・浜田バレエ団 創作リサイタル35

切なくも美しい・・・

想像しえなかった「白鳥の湖」が幕を開ける

The Lake

ザ・レイク

新制作 白鳥の湖

世界初演

脚本・構成・演出・振付 森 優貴

音楽 P.I. チャイコフスキー 他

2024年 3月 16日 17日

◎開場 14:15 ◎開演 15:00 予定上演時間約2時間半(休憩含む)
音楽は特別録音による音源を使用します

14時30分から、森優貴によるプレトークを予定しております

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

A席¥5,000 B席¥4,000 学生席¥2,000

*全席指定・税込 *未就学のお子様はご入場いただけません
*学生席の対象は中学生以上 当日学生証の提示が必要
※学生席は貞松・浜田バレエ団へお問合せください



公演の詳細はこちら

The Lake

SADAMATSU-HAMADA BALLET COMPANY

CREATIVE DANCE RECITAL 35

貞松・浜田バレエ団「創作リサイタル」シリーズ35回目は、
日本を代表する振付家 森優貴の手により、
古典バレエの名作「白鳥の湖」が新たな物語として生まれ変わります。

悲運の事故により娘を失い、過去の囚われの身となっている母親。
孤独の中で成長した息子。悲劇の現実から逃げ出した父親。
家族の間に生まれた哀しみの溝を埋めることができないまま、息子と父親は湖畔にある「部屋」
で再会する。その部屋には、心に哀しみと深い傷を持つ人々が集い、互いに共感し、癒しあい、
「現在に留まり生き続けよう」としている。
過去と現在、そして未来。残され、集う人々は、どこで生き続けることができ、生き続けることができ
なかったのか?
部屋の外には、「魂」が生き続ける美しい湖が広がっていた。

伝統として幾つもの時代を超えてきた不朽の名作「白鳥の湖」が、現代を生きる振付家によって
「革新」という新たな表現をたずさえ、舞台上で力強く舞う—

切なくも美しい「家族と魂」の物語。
森優貴が仕掛ける新たな「白鳥の湖」を、ぜひ劇場でお楽しみください。

出演 貞松・浜田バレエ団
賛助出演 戸田 祈
西岡憲吾 (西岡・福谷バレエ団)
林田海里

Staff

団長 貞松 融 副団長 浜田 蓉子
演出助手 貞松 正一郎
振付助手 古川 愛実
バレエミストレス 小西 康子 / 上村 未香 / 竹中 優花
舞台監督 坪崎 和司 (術ステージ・ハンド)
照明 伊藤 雅一 (RYU)
舞台美術 神戸国際ステージサービス(株)
衣裳 鷺尾 華子 (HANA DESIGN ROOM)
音響 津田 和志 (神戸国際ステージサービス(株))
衣裳スタッフ 堀部 富子 / 松良 朋子
広告写真 岡 タカシ
宣伝ヘアメイク 廣瀬 実和
宣伝美術 角谷 慶 (Su)

チケットのお取り扱い

●インターネット予約(24時間受付)
<https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員先行予約受付開始
9月16日(土)10:00 / 一般発売9月17日(日)

※直接購入:芸術文化センター2階総合カウンター
【9月18日(月・祝)より、残席がある場合のみ】

※車いす席のご予約は芸術文化センターへ
お問い合わせください。

芸術文化センターチケットオフィス
TEL 0798-68-0255 / 10:00~17:00
月曜休み ※祝日の場合は翌日

●(一社)貞松・浜田バレエ団
TEL 078-861-2609 / 平日10:00~17:00

●チケットぴあ
<https://t.pia.jp> Pコード:521-871

ローソンチケット
<https://l-tike.com> Lコード:51590

Topic! 先着20名を無料でご招待!

開幕直前のリハーサル見学会を予定しております。

日時 2024年3月8日(金) 予定

場所 兵庫県立芸術文化センター内

内容 森優貴によるトーク & リハーサル見学

お申込み方法・詳細はバレエ団ホームページでお知らせします。



撮影:田中みずき

脚本・構成・演出・振付

森 優貴 Yuki Mori

1978年生まれ。98年ドイツ・ハンブルクバレエ学校卒業。2001年シュ
テファン・トス率いるトス・タンツカンパニーに入団。11年間に渡り数
多くの作品で主役を務め、振付家としても作品を多数発表。欧州日本
人初として2012年9月よりレーゲンスブルク歌劇場ダンスカンパニー芸
術監督に就任。7年間にわたり多数の演出振付作品を手がけ、2016年
ドイツ舞台芸術界の栄誉あるファウスト賞振付家部門にて最優秀作
品にノミネート。2019年8月芸術監督退任。日本に拠点を移し帰国後
次々と新作を発表。宝塚歌劇団にて講師を務め、公演振付にも携わ
るなど幅広く活動している。K-BALLET TOKYOが企画、活動を展
開するK-BALLET OptoのArtistic Supervisorに今秋より就任。受賞
歴に第19回ハノーファー国際振付コンクール観客賞、批評家賞を同時
受賞、平成19年度文化庁芸術祭新人賞、「週刊オン★ステージ新聞」
新人ベスト1振付家、平成24年度兵庫県芸術奨励賞、平成29年度
神戸市文化奨励賞。

アクセス

